

## 笠原総長職務代理が第5回日本・インドネシア学長会議に出席



集合写真

10月10日（木）及び11日（金）、広島市において、広島大学を幹事として、第5回日本・インドネシア学長会議が開催され、笠原正典総長職務代理が出席しました。当日は、日本側から32大学、インドネシア側から37大学の学長や副学長等、さらに両国政府関係者をあわせ、約150名が参加しました。

日本・インドネシア学長会議は、2012年に名古屋大学で第1回会議が開催されて以来、隔年で開催されており、両国を代表する大学の学長が一堂に会し、大学における教育研究の在り方についての議論を行う場となってい

ます。

第5回となる今年は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成と平和な社会の実現に資するべく「Collaboration in Research and Education for Sustainable and Peaceful Society」をテーマに、両国の大学が今後の方策等について協議しました。越智光夫広島大学学長による開会挨拶の後、福田康夫元内閣総理大臣による基調講演が行われ、続いて「持続可能な開発」を主軸においた3つのテーマに沿って分科会が行われました。両国の30名以上の学長・副学長等から各大学の特色ある

取り組み事例が紹介され、活発な議論が行われました。

閉会式では、高等教育機関として、持続可能な発展を導く研究を深化させることの重要性を確認し、SDGsの達成と平和な社会の実現に向けて、今後とも協力して取り組んでいくことを宣言した共同声明が採択されました。

次回は、2年後の2021年にインドネシア側の主催により開催される予定です。

（国際部国際連携課）